

関係者各位

### プランクトン検鏡結果のお知らせ

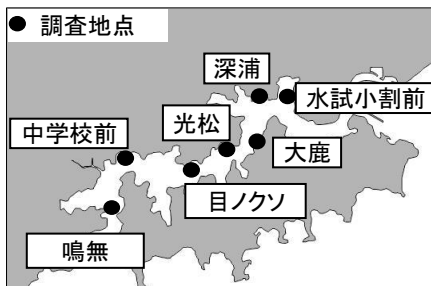
本日、浦ノ内湾のプランクトン調査を実施しましたので、結果をお知らせします。

検鏡の結果、魚類に対して有害なカレニア・ミキモイが最高で6cells/mL、ヘテロシグマ・アカシオが最高で40cells/mL、シャットネラ属が最高で2cells/mL、ケラチウム属が最高で36cells/mL、ディクチオカ属が最高で220cells/mL確認されました。また、昨日の夕方には深浦周辺で推定50,000cells/mLのヘテロシグマ・アカシオが確認されていますので、十分注意してください。

海や養殖魚の状態に不安や変化を感じた時は、良く洗ったペットボトルに海水を汲むなどして、水産試験場か中央漁業指導所まで連絡してください。

プランクトン(cells/mL)

	水深	カレニア・ミキモイ	ヘテロシグマ・アカシオ	シャットネラ属	ケラチウム属	ディクチオカ属
光松	0m	0	40	0	16	0
	5m	2	0	2	34	220
大鹿	0m	0	0	0	5	0
	5m	6	0	2	36	80
水試小割前	0m	0	0	0	2	0
	5m	2	0	0	6	140



#### 漁業被害が想定される細胞密度

- ・カレニア・ミキモイ： 数百～数千cells/mL (魚類等のへい死)
- ・ヘテロシグマ・アカシオ： 50,000～cells/mL (魚類のへい死)
- ・シャットネラ属： 10～100cells/mL以上 (魚類へい死)
- ・ケラチウム属： 100～cells/mL (餌食いの悪化)
- ・ディクチオカ属： 数千～cells/mL (魚類等のへい死のおそれ有り)

「環境調査結果のお知らせ」はホームページでもご覧いただけます。

<https://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/040409/akashiojoho.html>